

フィエスタ

栽培契約品種[増殖禁止]

店頭ではカリフォルニアローズとしておなじみの八重咲インパチエンス。分枝よく、花が株の表面を覆い、春の売店の定番品種となっています。

【栽培】

栽培期間 5~6号鉢1本植え：14~18週

用土 排水、通気性のよい用土。最適 pH は 5.8~6.2。

温度 日中：20~24℃、夜間 15~18℃が適温。

照度管理 40,000~60,000ルクス程度。30,000ルクス以下では徒長しやすくなります。また極端に強い光は葉焼けの原因となります。高温期は光量を落として落花や葉焼けを防ぎます。

灌水管理 初期は特に極端な水分変動を嫌うので適湿を維持してください。過湿になると徒長しやすくなり、花付きが悪くなります。出荷可能な大きさになってからは乾燥気味に管理することで開花が促進され徒長を抑制できます。ただし発蕾期に乾かしすぎると落花の原因になるので注意してください。

施肥管理 定植2週後あたりで根が動き始めてから施肥を開始します。定期的に窒素 75-225ppm 施肥（20-20-20 で約 1000~2000 倍）。過剰なアンモニア態窒素やリン酸は栄養生長に傾き、花付きが悪くなるので開花時期は過剰施肥にならないように注意してください。緩効性肥料を使用して施肥プログラムを補助。

ピンチ 基本的には必要ありません。芽数を増やすため、草姿を整えるためのソフトピンチは有効です。

スペーシング 十分にスペーシングすることで、分枝よく、まとまった草姿に仕上がります。

わい化剤 ボンザイ 3~15ppm の 1~2 回散布が有効です。出荷可能なサイズになってからのボンザイ 0.25~3ppm 灌注は開花継続させつつ、栄養生長を遅らせることができます。ただし、わい化剤は生産者それぞれの環境下でテストしてから使用してください。

病害虫 スリップスに注意。スリップスがウイルス（INSV）、病気を媒介するので防除に努めてください。温度が低く高湿度の環境下では病気が発生しやすくなります。

* ベと病：欧米で深刻な問題となっています。予防のため定期的に殺菌剤を散布してください。短期間で拡大するので罹病株を見つけた場合はただちに廃棄処分してください。べと病対策として 18℃以上の温度を保つことをおすすめします。